

# 心ひとつに 花咲け、未来

先人がこの地で

新しい時代を築こうとしてきた気概、「桑折プライド」。

私たちの心にも脈々と受け継がれてきたその情熱が、

これからも新しい道を切り拓いていく。

実りある未来を知らせる満開の桃の花のように

みんなで手を取り合い、新たな花を咲かせましょう。

## CONTENTS

心ひとつに—花咲け、未来 .....	2
こおり未来会議 .....	4
時をつなぐ	
1955—2014 .....	8
2015—2018 .....	10
2019—2022 .....	12
2023—2024 .....	14
LOVE KOORI .....	16
ひらけ！MOMO .....	18

## ごあいさつ



町長 高橋 宣博

桑折町は、昭和30年1月1日に、旧桑折町、睦合村、伊達崎村、半田村の1町3ヶ村の合併により町制がスタートしました。そして、今年、70周年を迎えたことは、「平成の大合併」の潮流に流されることなく、「自主・自立の町」を選択し、単独立町の道を歩んできたからにほかならず、この間の町政に対するご理解とご協力にあらためて感謝申し上げます。

さて、今日までの10年間は、国難ともいべき未曾有の東日本大震災とその後に続く原発事故災害からの復旧・復興はもとより、新たなステージである創生へ向けた取組みを力強く進め、夢と活力に満ちた「こおり新時代」の幕開けを迎えたものと捉えております。また、その後の新型コロナウイルス感染症や2年連続の福島県沖地震など、幾多の困難にあっても、町民の皆さんと心ひとつに、それらを克服し、一步一步着実にまちづくりを進めてきた結果、今日、住み心地の良さや住み続けたい町として、高い評価を得るところに至りました。

この記念すべき年にあたり、これまでの歩みに思いを馳せるとともに、先人から受け継いだ気概と地域資源を活かし、「桑折ならではの」まちづくりを推し進め、総合計画でうたう「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」を実現していくことをお誓い申し上げます。

結びに、先人の遺徳に感謝するとともに、未来を担う子どもたちに、夢と希望をつなぎ、花咲く未来を皆さんと共に築いてまいりましょう。



献上桃の郷。  
桑折町  
こおりまち

町の財産である自然や歴史、文化を「桑折ブランド」として確立し、町のイメージアップや交流人口の拡大など、シティプロモーションの取り組みの一つとして、平成30年に制作した町ロゴマーク。

濃い桃色……町民の皆さんのあたたかさ  
薄い桃色……桑折町の桃  
緑色……「半田山」をはじめとする豊かな自然  
黄色……「桃の果肉」や「旧伊達郡役所」、「ホタルの光」



## 町制施行70周年記念ロゴについて

数字の70のデザインは、桑折町を語る上で欠かせない「桃」と「道」をイメージしました。「桃」は実りある未来、「道」は21世紀の追分である「桑折ジャンクション」。町へ人やものを呼び込む希望の象徴でもあります。青は桑折町の青い空、緑は豊かな自然、オレンジは町に降り注ぐ温かい光、ピンクは桃を表しています。